

生誕百年・没後十年特別展 **桂米朝 噺家の姿**

桂米朝（本名：中川清）は1925（大正14）年、満州（大連）に生まれ、1930（昭和5）年に一家で帰国し姫路に居住します。幼少時代から落語に興味をもち、作家・寄席文化研究家の正岡容に師事し、のちに4代目桂米團治に入門。3代目桂米朝として、当時不振のどん底にあった上方落語を6代目笑福亭松鶴、5代目桂文枝、3代目桂春團治らとともに復興させました。また、落語の研究にも取り組み、一度滅んだ演目を多数復活させています。1961（昭和36）年からは居を尼崎市に移し、1977（昭和52）年から若手落語家の育成のために始めた「尼崎落語勉強会」は今年度で第280回を迎えました。

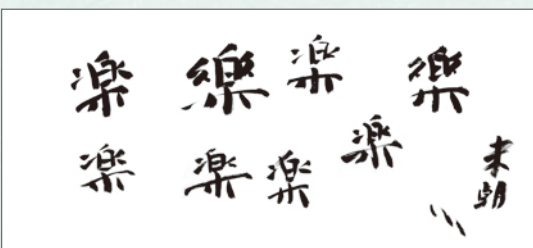
上方だけではなく全国で活躍し、1996（平成8）年に落語家として2人目の重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定され、2009（平成21）年には演芸界初の文化勲章受章者となりました。上方落語の継承と復興への功績から「上方落語中興の祖」と呼ばれています。桂米朝の生誕百年・没後十年にあたる本年、その噺家の姿を振り返る回顧展を開催します。



尼崎落語勉強会 2007年8月29日

展示のみどころ

寄席の姿を写した多数の写真・絵画と、ゆかりの品々を展示し、米朝が歩んだ落語の道を辿ります。米朝直筆の書、尼崎市内の刊行物への寄稿文、2023（令和5）年に自宅で発見された新作落語「犬のくやみ」の草稿など、さまざまな資料を展示します。



「楽」字額/動案亭 ▶ 桂米朝 書



桂米朝 高座姿 成瀬園晴 画

◀百年目（1997年1月3日サンケイホール） 宮崎金次郎 撮影

展示解説会

2025年

3月8日 土 / 3月15日 土 14:00~14:30

本展企画にご協力をいただいたお二方に、展示資料にまつわるお話や思い出を語っていただきます。

予約不要 / 入場無料

会場：尼崎市総合文化センター 美術ホール [4階]

解説

兵庫県立考古博物館 学芸員 中川 渉氏（米朝三男）
落語研究家 小澤 紘司氏

関連事業

桂米朝生誕百年・没後十年記念落語会

2025年

入場料：各回一般 2,000円（ホールメイト会員1,800円）自由席
会場：尼崎市総合文化センター アルカイックホール・ミニ [2階]

詳しくはホームページにて www.archaic.or.jp
TEL 06-6487-0910（9:00～19:00 火曜臨時休館あり）



高校生以下
各回 40名様 無料招待

申込方法はホームページにて
www.archaic.or.jp

2月22日 土	11:00	桂 千朝・桂團治郎
	14:00	桂 米二・桂團治郎
2月23日 日祝	11:00	桂 米平・桂 米輝
	14:00	桂 米左・桂 米輝
2月24日 月振休	11:00	桂 団朝・桂慶治朗
	14:00	桂 八十八・桂慶治朗



千朝



米二



團治郎



米平



米左



米輝



団朝



八十八



慶治朗

各回落語二席のほか、米朝の直系弟子による、米朝にまつわるエピソードをお届けします。

同時開催 【赤羽恒男展 二科会の作家とともに】 2月8日 土 ～3月9日 日（火曜休館）美術ホール [5階] 入場料：一般 700円
【第44回 尼崎芸文美術展】 3月15日 土 ～3月23日 日 美術ホール [5階] 入場無料